

再評価結果（平成20年度事業継続箇所）

担当課：中部地方整備課 都市整備課
担当課長名：中西 賢也

事業名	なごやはんだせん とうかい ひがしうらこうく 都市計画道路 名古屋半田線（東海・東浦工区）	事業区分	街路	事業主体	愛知県
起終点	自：愛知県東海市加木屋町 至：愛知県知多郡東浦町大字緒川			延長	1.01km

事業概要
本路線は、名古屋市と半田市を結び知多半島中央部を縦貫する主要幹線道路であり、知多半島北部のネットワークを形成する上でも非常に重要な路線である。
名古屋半田線の現道は慢性的な交通渋滞が発生しているが、沿線に店舗等が密集しており現道拡幅が困難であるため、バイパスとしての整備を行っている。

H10年度事業化	S45年度都市計画決定	H10年度用地着手	工事未着手
全体事業費	60億円	事業進捗率	43%
計画交通量	9600台/日		

費用対効果分析結果	B/C	総費用	総便益	基準年
	(事業全体) 3.0 (残事業) 6.1	(残事業)/(事業全体) 28/58億円 事業費：27/58億円 維持管理費：0.67/0.67億円	(残事業)/(事業全体) 171/171億円 走行時間短縮便益：167/167億円 走行費用減少便益：4.4/4.4億円 交通事故減少便益：-0.19/-0.19億円	平成19年

事業の効果等
都市の再生（区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり）
外3項目に該当

関係する地方公共団体等の意見
市街地のより一層の発展、交通安全の確保のためにも地元東海市・東浦町からも早期完成が望まれている。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等
事業区間に隣接して東海加木屋石塚土地区画整理が平成18年に整備完了しており、当該区域への交通アクセス向上を図るため早期完了を望まれている。

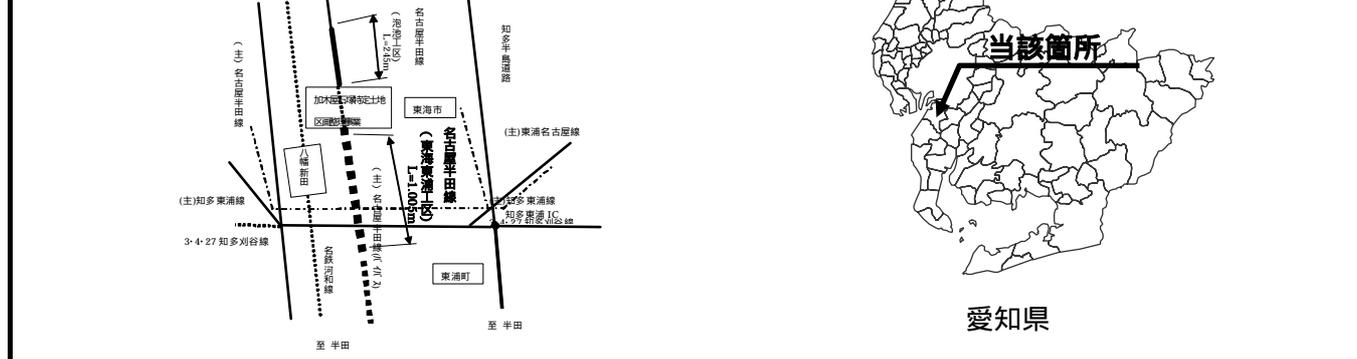
事業の進捗状況、残事業の内容等
用地買収は46%進捗している。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等
用地交渉や代替地の選定等に時間を要したことから、事業が長期化した。引き続き用地交渉を進め、早期完了を目標としている。

施設の構造や工法の変更等
新工法による大規模なコスト縮減はないが、再生材の使用等によりコスト縮減を図るとともに、「あいくる材」の積極的な活用等により環境負荷の低減に努める。

対応方針 事業継続

対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考える。



総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。